

平成23年度 河津町教育委員会点検評価報告書

(平成22年度・平成23年度前期事務事業分)

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

河津町教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成22年度及び23年度前期の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者からの意見を付して報告するものです。

平成23年12月

河津町教育委員会

委員長	渡邊昌昭
委員長職務代理者	板垣秀樹
委員	長田三枝子
委員	福司康人
委員(教育長)	榎本良治

関係法令

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

<目 次>

○平成22年度河津町教育委員会の自己点検・評価シート

- 1 教育委員会の活動 …… 1
- 2 教育委員会が管理・執行する事務 …… 1
- 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務 …… 2

○平成23年度(前期)河津町教育委員会の自己点検・評価シート

- 1 教育委員会の活動 …… 4
- 2 教育委員会が管理・執行する事務 …… 4
- 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務 …… 5

○教育委員会評価委員による意見(外部評価) …… 7

○点検評価のまとめ …… 9

参考資料

- 教育委員会組織図 …… 10

平成22年度 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	点検評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の開催	①教育委員会会議の開催回数	定例会12回、臨時会1回を開催した。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	年度当初に定例会の開催予定を作成し、委員や学校訪問等での受入先の日程調整に役立てた。
	(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	町内幼稚園、小中学校の園長、校長が傍聴 一般の傍聴者なし。
		②議事録の公開、広報、公聴活動の状況	会議録の公開請求、広報、公聴活動がなかった。
	(3) 教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携	定例教育員会に職員が出席し、委員研修会に職員が参加した。
	(4) 教育委員会と首長との連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	当該年度の実施はなかった。
	(5) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	市町教育委員研修会3名、市町新任教育委員研修2名参加した。
(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	幼稚園1回、小学校3回、中学校1回実施した。南小学校の備品検査を実施した。	
	②所管施設の訪問	当該年度の実施はなかった。	
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本方針の決定		基本方針に関する決定はなかったが、町内校長会で教育方針等について校長に指示した。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規定の制定又は改廃に関する事		要綱(改正2件)、規程(改正2件)、要領(改正2件)
	(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を述べる事		当初予算、補正予算議案、決算認定議案、人事案件について審議した。(教育委員の任命)
	(4) 教育委員会所管に属する学校その他の教育機関の設置又は廃止に関する事		当該年度の該当はなかった。
	(5) 教育長の任免		当該年度の該当はなかった。
	(6) 県費負担の教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること		教職員の懲戒はなかった。校長の異動について教育長から報告を受け県教育委員会に内申した。
	(7) 通学区の設定又は変更		当該年度の該当はなかった。
	(8) 学校・その他教育機関の敷地の設定及び変更		当該年度の該当はなかった。
	(9) 教育委員会附属機関の委員の任命又は解任		就学指導委員会、社会教育委員会、体育指導委員会、スポーツ推進委員会、給食運営審議会、青少年問題協議会の各委員を委嘱又は任命した。
	(10) 請願・陳情・訴訟についての処置の決定		当該年度の該当はなかった。
	(11) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事		町職員の人事異動に伴い、事務局職員及び幼稚園教諭の任免を行った。小中学校教職員の任免について教育長から報告を受け県教育委員会に内申した。
	(12) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事		隔年実施のため当該年度の点検及び評価は行わなかった。
	(13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定める事		小学校1名、中学校1名の教員の初任者研修を実施した。
	(14) 教科書採択に関する事		平成23年度から平成26年度まで使用する小学校の教科書を採択した。

平成22年度 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	細項目	担当係	点検評価（上段:実績 下段:評価）
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	1 明日の河津を担う元気な子どもたちの育成	1 幼児教育・学校教育の充実	(1) 学校教育全般	学校教育係	◆臨床心理士と保健師の協力を得て、特別支援教育巡回相談を延16回実施した。 ◆外国人語学指導助手(ALT)を配置し、小中学校を巡回して英語による語学教育の充実を図った。 ◆静岡県が制定した2月23日の「富士山の日」に伴い、町内幼稚園・小学校・中学校では、同日を学校休業日とした。 ◇知的障害や身体障害などで特別な支援が必要な幼児・児童・生徒それぞれが必要とする支援が受けられるよう、学校、保健福祉課と連携したきめ細かい就学指導が実施できた。
			(2) 幼稚園教育	学校教育係	◆家庭と連携し基本的な生活習慣の定着を図り、有能感をもって友達と遊びや生活ができるよう、重点目標「進んで取り組み、自分らしさを発揮できる子」の育成に取り組んできた。 ◆特別支援教育において専門家や関係機関と連携し発達障害のある子どもの教育的ニーズを理解し、適切な支援を行うことができた。 ◆平成19年度からPTAが食育の大切さを感じ「みんなで取り組む健康づくり」というテーマで取り組んできた実践発表が、前年度優良文部科学大臣賞を受賞し、平成22年度全国公立幼稚園PTA全国大会で表彰された。 ◇園内、園外でのさまざまな活動を通して、園の重点目標の達成に向け順調に運営している。
			(3) 小学校教育	学校教育係	◆各学校5、6年生の外国語活動の授業に学習支援員を配置した。 ◆南小学校に基礎学力(国語、算数)向上のための学習支援員を配置した。 ◆西小学校に特別支援教育支援員を配置した。 ◆夏休み中の学校プール開放時の安全を確保するためライフセーバーを配置した。 ◇各学校の教育目標の達成に向けての取組を行った。 ◇学習支援員等の配置によりきめ細やかな学習ができています。 ◇施設整備では南小学校において屋上に太陽光発電パネルを設置し、生徒に対する自然エネルギーへの関心が深まった。
			(4) 中学校教育	学校教育係	◆基礎学力(数学、英語)の定着を図るため、常勤臨時講師1名、学習支援員1名を配置した。 ◇学校の教育目標の達成に向けての取組を行った。 ◇臨時講師採用による人的支援で、TT(複数教師による教育指導)・少人数指導や、習熟度別少人数指導が可能になり、学習内容の理解度が向上した。
			(5) 家庭教育	社会教育係	◆家庭教育学級を幼稚園、小学校、中学校に開設した。 ◆保護者を対象に教育講演会、情報環境講座をそれぞれ1回開催した。 ◆かわづっこ子育てネットに委託し、読み聞かせの会やお楽しみ会を実施した。 ◇家庭教育学級はそれぞれの学級で工夫して、年間6～8回の事業を実施している。 ◇かわづっこ子育てネットでは、積極的な企画によるお楽しみ会やコンサート、読み聞かせなどが実施され、保護者への子育てサポートや子どもの社会性を養うとともに、子どもの読書の拡大にもつながっている。
			(6) 学校給食	学校教育係	◆子育て支援事業として、保護者負担の軽減を図るため2学期から1人月額1,000円の給食費に対する助成をした。 ◆国の食育月間に合わせて、児童、生徒たちが、地域を再発見するとともに、地元の食文化や伝統料理に親しむ機会となるように、6月に「ふるさと給食週間」を設け、地元食材や地域の食文化を活かした学校給食を提供した。 ◆食育推進の一環として、朝市部会食育グループの協力を得て地場産野菜を使った給食を実施した。 ◇「安心・安全」とともに「食育」を給食事業の主要目標とし、地産地消を進めるとともに、学校給食センター見学や生産者との交流などを通じて子供たちの「食」への興味を引き出していくよう今後も事業を継続していく。
		2 青少年の健全育成	(1) 青少年健全育成の環境整備	社会教育係	◆青少年問題協議会を開催し、関係者による情報交換を図った。(2回) ◆非行防止街頭広報(1回23人)と夜間パトロール(2回)を実施した。 ◇当町では協議会や夜間パトロールで問題となる事案がなく、青少年の育成が健全に行われている。
			(2) 青少年の社会参加促進	社会教育係	◆第9回青少年の主張大会を開催した。(発表者9人、出席者112人) ◇発表は小学6年生から高校生まで、内容は幅広く、論理的に自分の主張を発表できている。
			(3) 青少年活動の充実	社会教育係	◆遊び名人塾(7回、実50人)、ふるさと緑の少年団(10回、実54人)、にこにこファミリークラブ(2回、12組)の事業を実施した。 ◇遊び名人塾とふるさと緑の少年団、いずれも異年齢かつ異なる小学校区の子どもたちによる集団活動を実施しており、町内の子どもたちの交流の場となっている。特にふるさと緑の少年団では班活動による共同作業を通じ、協力し助け合う姿勢を育成できた。 ◇にこにこファミリークラブでは、やきものづくり・料理作りを通じ、親子のふれあいの場とすることができた。

平成22年度 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	細項目	担当係	点検評価（上段:実績 下段:評価）
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	2 心豊かでチャレンジ精神旺盛な人づくり	3 生涯学習の推進	(1)成人学習	社会教育係	◆クレパス画教室(6回、実24人)、篆刻教室(3回、実24人)、パソコン入門教室(5回、実21人)を開催した。 ◆高齢者を対象にした寿大学を開催した。(6回、学生105人) ◇生涯学習の一環として実施し、好評を得ており継続の希望も多い。 ◇寿大学は高齢者の生涯学習の機会として定着している。
		4 地域文化の振興	(1)文化活動の推進	社会教育係	◆文芸かわづ第10号を400部発行した。(投稿者一般56人、中学生76人) ◆文化協会の第29回町民文化祭(舞台、展示)開催を支援した。 ◇文芸かわづは少しずつ投稿者も増え、町民の関心が高くなってきている。 ◇文化協会の団体数は26団体と充実してきており、町民文化祭においては小学生から一般まで多数が参加し、文化に対する町民の関心が高くなってきている。
			(2)図書館の利用推進	社会教育係	◆ブックスタート(毎月1回)、おはなし会、読み聞かせの会、図書館へ行くキャンペーン(6回)、河津の昔話を聞きに行こう(2回)を実施した。 ◇乳幼児から児童まで、一貫した読み聞かせの機会をつくることができ、図書館の利用推進や読書への関心を高められた。
			(3)生涯学習室と展示スペースの利用推進	社会教育係	◆クレパス画教室、篆刻教室を開催した。《再掲》 ◆各種教室の作品展示と、町民の展示作品を募集した。 ◇生涯学習室の利用頻度は高く、生涯学習の場として積極的に利用されている。 ◇展示スペースも各種教室の作品展示を実施し、展示作品の募集も行ったが、町民の作品展示が少なく、展示スペースの利用をさらに推進する必要がある。
			(4)地域文化の保存と継承	社会教育係	◆南禅寺仏像収蔵庫工事用道路の確認調査を実施した。 ◆見高農免農道関連で発掘調査した宮林遺跡の出土品を文化の家ロビーに展示した。 ◆「長福寺」「地福院」「杉梓別命神社の大クス」の案内看板を修繕した。 ◆普及活動として、小学校6年生を対象に段間遺跡の説明、また幼稚園の園外保育において、城山で河津城跡の説明を行った。 ◆ふるさと案内人文化財研修での説明を行った。 ◇文化財保護においては、案内看板は順次修繕を進めており、文化財見学の参考になっている。 ◇普及活動については、幼稚園児、小学生に対して文化財の説明をし子どもの頃から文化財への知識をもってもらうように務めた。またふるさと案内人への説明においては、観光客に文化財の価値を知っていただく上で効果が出ている。
		5 スポーツレクリエーションの振興	(1)スポーツ大会の開催	社会教育係	◆町民体育大会(13種目1,400人)、元旦マラソン大会(3コース、244人)、B&Gソフトボール大会(11チーム150人)、月1スポーツ大会(9回252人)、下田河津間駅伝競走大会(70チーム、600人)を開催した。 ◆静岡県市町駅伝競走大会に参加した。(町の部13チーム中10位) ◇町内で定着したスポーツ大会は多くの参加者を得ることができ、スポーツや健康に対する関心を高めることができた。町民体育大会は毎年実施の有無が検討されるが、広く意見を聞きながらよりよいものにしていきたい。 ◇市町駅伝は、8月から計19回の練習を重ねた。選手の努力はもとより監督・コーチなどボランティアでの練習への支援により大会に臨むことができ、今後もこのような体制を維持していきたい。
			(2)スポーツ教室・レクリエーションの開催	社会教育係	◆コアリズム教室(8回、延40人)を開催した。 ◆健康づくりハイキング(2回、延58人)を開催した。 ◇健康に対する関心が高まる中で、コアリズム教室を実施した。午前の部、夜間の部の2教室を設けたが、午前の部については、参加者が少なかったため今後の検討課題となった。 ◇健康づくりハイキングは、自然と触れ合いながら健康づくりができるということで、毎年好評を得ている。

※ 大項目3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務における中項目、小項目については、河津町第3次総合計画の基本計画の内容による。

平成23年度(前期) 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	点検評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の開催	①教育委員会会議の開催回数	定例会6回、臨時会1回を開催した。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	年度当初に定例会の開催予定を作成し、委員や学校訪問等での受入先の日程調整に役立てた。
	(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	傍聴者はなかった。
		②議事録の公開、広報、公聴活動の状況	会議録の公開請求、広報、公聴活動がなかった。
	(3) 教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携	定例教育委員会に職員が出席した。
	(4) 教育委員会と首長との連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	本年度前期の実施はなかった。
	(5) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	本年度前期の実施はなかった。
(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	幼稚園、西小学校、南小学校を各1回実施した。さくら幼稚園の備品検査を実施した。	
	②所管施設の訪問	学校給食センター施設の見学と試食を実施した。	
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本方針の決定		基本方針に関する決定はなかったが、町内校長会で教育方針等について校長に指示した。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規定の制定又は改廃に関する事		本年度前期の該当はなかった。
	(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を述べる事		補正予算議案、決算認定議案について審議した。
	(4) 教育委員会所管に属する学校その他の教育機関の設置又は廃止に関する事		本年度前期の該当はなかった。
	(5) 教育長の任免		本年度前期の該当はなかった。
	(6) 県費負担の教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること		本年度前期の該当はなかった。
	(7) 通学区の設定又は変更		本年度前期の該当はなかった。
	(8) 学校・その他教育機関の敷地の設定及び変更		本年度前期の該当はなかった。
	(9) 教育委員会附属機関の委員の任命又は解任		就学指導委員会、文化の家運営協議会、給食運営審議会の委員を委嘱又は任命した。
	(10) 請願・陳情・訴訟についての処置の決定		本年度前期の該当はなかった。
	(11) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事		町職員の人事異動に伴い、事務局職員及び幼稚園教諭の任免を行った。小中学校教職員の任免について、教育長から報告を受け県教育委員会に内申した。
	(12) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事		前年度及び本年度前期について点検及び評価を実施した。
	(13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定める事		幼稚園職員1名、中学校教員1名の初任者研修を実施している。中学校学校教員1名が中央研修に参加した。
	(14) 教科書採択に関する事		平成24年度から平成27年度まで使用する中学校の教科書を採択した。

平成23年度(前期) 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	細項目	担当係	点検評価（上段:実績 下段:評価）
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	1 豊かな心身を育むまちづくり	1 幼児・学校教育の充実	(1) 学校教育全般	学校教育係	<p>◆臨床心理士と保健師の協力を得て、特別支援教育巡回相談を延8回実施した。 ◆外国人語学指導助手(ALT)を配置し、小中学校を巡回して英語による語学教育の充実を図った。 ◆防災訓練説明会に合わせ、学校区ごとに行政連絡員との防災についての意見交換の場を設けた。</p> <p>◇知的障害や身体障害などで特別な支援が必要な園児、児童・生徒それぞれが必要とする支援が受けられるよう、学校、保健福祉課と連携したきめ細かい就学指導が実施できた。 ◇行政連絡委員との防災に関する意見交換により、学校の防災計画の見直しに反映できるよう今後も継続していく。</p>
			(2) 幼稚園教育	学校教育係	<p>◆家庭と連携し基本的生活習慣の定着を図りながら、重点目標「進んで取り組み、自分らしさを発揮できる子」の育成に取り組んでいる。 ◆幼稚園における交通安全教室や避難訓練の実施、また家庭学級が実施する安全に対する活動(AED・心肺蘇生法講習会)により、園児、保護者及び職員の安全・安心に対する認識を高めることができています。 ◆特別支援教育において専門家や関係機関と連携し発達障害のある子どもの教育的ニーズを理解し、適切な支援を行うことができています。</p> <p>◇園内、園外でのさまざまな活動を通して、園の重点目標の達成に向け順調に運営している。</p>
			(3) 小学校教育	学校教育係	<p>◆南小学校に基礎学力(国語、算数)向上のための学習支援員を配置した。 ◆西小学校に特別支援教育支援員を配置した。 ◆夏休み中の学校プール開放時の安全を確保するためライフセーバーを配置した。</p> <p>◇各学校の教育目標の達成に向けての取組を行っている。 ◇学習支援員等の配置によりきめ細やかな学習ができています。 ◇ライフセーバーは、前年度の反省から南小学校について1人増員し安全の確保を図った。</p>
			(4) 中学校教育	学校教育係	<p>◆基礎学力(数学、英語)の定着を図るため、常勤臨時講師1名、学習支援員1名を配置した。</p> <p>◇臨時講師採用による人的支援で、TT(複数教師による教育指導)・少人数指導や、習熟度別少人数指導ができています。</p>
			(5) 家庭教育	社会教育係	<p>◆家庭教育学級を幼稚園、小学校、中学校に開設した。 ◆かわづっこ子育てネットに委託し、お楽しみ会や読み聞かせの会を実施している。</p> <p>◇家庭教育学級はそれぞれの学級で工夫して、年間の事業計画により事業を実施している。 ◇かわづっこ子育てネットでは、お楽しみ会や読み聞かせなどが実施され、保護者への子育てサポートや子どもの社会性を養うとともに、子どもの読書の拡大にもつながっている。 ◇文化の家読み聞かせ室の増築により、子育てサポートの拠点になることが期待される。</p>
			(6) 学校給食	学校教育係	<p>◆国の食育月間に合わせて、児童、生徒たちが、地域を再発見するとともに、地元の食文化や伝統料理に親しむ機会となるように、6月に「ふるさと給食週間」を設け、地元食材や地域の食文化を活かした学校給食を提供した。 ◆食育推進の一環として、朝市部会食育グループの協力を得て地場産野菜を使った給食を実施している。</p> <p>◇「安心・安全」とともに「食育」を給食事業の主要目標とし、地産地消を進めるとともに、学校給食センター見学や生産者との交流などは、子供たちの「食」への興味をもってもらう機会となっている。 ◇東日本大震災による計画停電の実施を受け、学校給食センターが防災の拠点に位置づけられていることから、自家用発電機の設置が検討課題にあがってきている。</p>
		2 生涯学習の推進	(1) 青少年健全育成の環境整備	社会教育係	<p>◆青少年問題協議会を開催し、関係者による情報交換を図った。(2回) ◆非行防止街頭広報(1回25人)と夜間パトロールを実施した。(1回)</p> <p>◇当町では協議会や夜間パトロールで問題となる事案がなく、青少年の育成が健全に行われている。</p>
			(2) 青少年の社会参加促進	社会教育係	<p>◆第10回青少年の主張大会の発表者の募集を行った。</p> <p>◇青少年の主張大会は25歳までの青少年を対象としているが、青年層からの参加者が無く苦慮している。</p>
			(3) 青少年活動の充実	社会教育係	<p>◆遊び名人塾(3回、実55人)、ふるさと緑の少年団(4回、実50人)、にこにこファミリークラブ[親子やきものづくり](1回、28組)の事業を実施した。</p> <p>◇遊び名人塾とふるさと緑の少年団、いずれも異年齢かつ異なる小学校区のごどもたちによる集団活動を実施しており、町内の子どもたちの交流の場となっている。特にふるさと緑の少年団では班活動による共同作業を通し、協力し助け合う姿勢を育成できている。 ◇にこにこファミリークラブでは、やきものづくりを実施し、親子のふれあいの場とすることができた。</p>
			(4) 成人学習	社会教育係	<p>◆水彩画教室を開催した。(6回、24人) ◆高齢者を対象にした寿大学を開催している。(4回、学生99人)</p> <p>◇生涯学習の一環として実施したが、好評を得ており継続の希望が多い。 ◇寿大学は高齢者の生涯学習の機会として定着している。</p>

平成23年度(前期) 河津町教育委員会の自己点検・評価シート

大項目	中項目	小項目	細項目	担当係	点検評価 (上段:実績 下段:評価)
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	1 豊かな心身を育むまちづくり	3 文化・スポーツ・レクリエーションの充実	(1)文化活動の推進	社会教育係	◆文芸かわづ第11号の作品募集を行った。 ◆文化協会の第30回町民文化祭(舞台、展示)開催の支援を行った。 ◇文芸かわづは、6名の委員の協力により編集が行われているが、委員から人員の増員や刷新の意見があげられており、検討していく必要がある。 ◇町民文化祭は南小学校体育館を使用して行われているが、資機材の搬入や会場の準備に苦労を要している。
			(2)図書館の利用推進	社会教育係	◆ブックスタート(毎月1回)、おはなし会、読み聞かせの会、図書館へ行こうキャンペーン(6回)を実施した。 ◇乳幼児から児童まで、一貫した読み聞かせの機会をつくることができおり、図書館の利用推進や読書への関心が高められている。
			(3)生涯学習室と展示スペースの利用推進	社会教育係	◆水彩画教室を開催した。《再掲》 ◆教室の作品展示と、町民の展示作品を募集した。 ◇生涯学習室の利用頻度は高く、生涯学習の場として積極的に利用されている。 ◇展示スペースも教室の作品展示を実施した。なお、一般町民の展示作品の募集も行ったが、町民の作品展示が少なく、今後展示スペースの利用をさらに推進する必要がある。
			(4)地域文化の保存と継承	社会教育係	◆普及活動として、町内小学校6年生の交流事業として段間遺跡の説明会を開催した。またふるさと案内人文化財研修での説明を行った。 ◇普及活動については、小学生に対する文化財の説明を行い、子どもの頃から文化財への知識をもってもらおうように務めている。またふるさと案内人への説明においては、文化財を観光振興に結び付けていく効果が期待されている。
			(5)スポーツ大会の開催	社会教育係	◆町民体育大会(13種目約2,000人)、B&Gソフトボール大会(11チーム150人)、月1スポーツ大会(5回、83人)を開催した。 ◆県市町駅伝競走大会の練習を河津中学校グラウンドで実施している。(10回) ◇町内で定着したスポーツ大会は多くの参加者を得ることができており、町民のスポーツや健康に対する意欲の向上や参加機会の充実が図られている。 ◇町民体育大会は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、軽スポーツやレクリエーションなど、異世代が集うスポーツイベントとして定着している。 ◇市町駅伝競走大会は、練習を重ねてきているが、選手の努力はもとより監督・コーチなどボランティアによる支援に支えられている。また、練習の機会が、指導者の確保、育成にもつながっている。
			(6)スポーツ教室・レクリエーションの開催	社会教育係	◆ミニテニス教室(4回、延60人)、フィットネス教室(5回、延75人)を開催した。 ◇夜間実施したフィットネス教室は、健康に対する関心が高まる中で実施し多くの参加者が得られた。 ◇ミニテニスは教室終了後大会を実施し、継続的にスポーツに取り組みやすい環境づくりに努めた。

※ 大項目3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務における中項目、小項目については、河津町第4次総合計画の基本計画の内容による。

教育委員会評価委員による意見(外部評価)

……「大項目1 教育委員会の活動」について……

- ◇定例会は、月一回開催されており、適切に運営されている。
- ◇教育委員会の組織や役割及び活動について、町民に幅広く理解していただく上で、広報紙等を利用し更なる周知を図っていただきたい。

……「大項目2 教育委員会が管理・執行する事務」について……

- ◇教科書採択等の業務は、適切に行われている。
- ◇通学区については、いじめ等の特別な事情が発生した時は弾力的な措置を講じていただきたい。

……「大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について……

- ◇学校教育においては、幼稚園、小学校、中学校において様々な支援員の配置されており、近隣の市町と比べてもかなり充実していることから、教育に望む姿勢がうかがわれる。今後も支援員の配置等により、多様な教育活動に対応した学校教育環境の整備充実に努めていただきたい。

- ◇富士山の日については、県内 35 市町のうち 9 市町が学校休業日にしているが、富士山を大切にしようという趣旨にかんがみ、富士山にちなんだ取組を続けていただきたい。

- ◇給食センターの自家発電機の設置については、経費が高額であるが災害時の炊き出しの拠点となっていることから、町の財政状況をみながら検討していただきたい。

- ◇文化・芸術については、文化協会を中心に活動を行っており、年々活動内容も充実してきていることから、生涯学習を推進していく上でも作品の展示や発表の場となる施設を充実していただきたい。

- ◇文芸かわづについては、中学生から一般まで多数の投稿があり、読者の関心も高いことから、内容をより充実させるため、今後町内外から幅広く新しい投稿者の確保に努めていただきたい。

- ◇健康づくりハイキングは、年2回開催されているが、町民の健康志向から人気が高い。しかし、募集定員があり希望しても参加できない事例もあるので、今後実施回数の増や、大型バスを利用した定員枠の増などを検討していただきたい。

- ◇小学生を対象とした遊び名人塾、ふるさと緑の少年団は、それぞれ希望者が 50 人以上と人気が高い反面、年間を通じ野外活動を中心とした事業であるため、現在の指導に当たる職員の配置体制では安全面の確保が危惧される。

◇図書館の本等の貸出数については、平成22年度は前年度を下回ったが、キャンペーンの実施や、閉館時間の延長などにより、平成23年度は前年度同期を上回っている状況にある。今後も、幅広い層の住民の方が図書にふれ、教養の向上が図れるような取組をしていただきたい。

◇本年度読み聞かせ専用の室が増設されることから、読み聞かせボランティアの育成等により、図書館の効果的な運用に努めていただきたい。

◇町民体育大会は、町民が一同に会することができる貴重な場となっていることから、今後も継続してほしいという声が多い。少子高齢化が進む中、大会が継続できるよう競技種目や運営方法の検討をお願いしたい。

◇小中学校のグラウンド、体育館については、社会体育活動としての定期的な利用が多いことから、グラウンドの増設等施設の充実を図っていただきたい。

◇下田・河津間駅伝競走大会は、毎年申し込みチームが多く、町内外の関心も高い。しかし、参加チームの増による運営上の問題点も生じていることから、今後運営方法等の検討をしていただきたい。

◇教育委員会の傘下にある文化協会や体育協会などの各種団体の活動については、教育委員会との連携が密に取れており、団体の効果的な活動ができている。

◇スポーツや文化に関する活動が少人数分散化していることから、各分野の後継者の育成に努めていただきたい。

教育委員会評価委員(学識経験者による外部評価委員)

	氏名	備考
委員長	飯田 精司	元教育長
委員	横山 春子	文化協会副会長
委員	鈴木 利三	体育協会会長
委員	島崎 孝行	町PTA 連絡協議会会長

点検評価のまとめ

3回にわたり評価委員会を開いていただいた。4名の委員の方から、熱心に、かつ建設的に様々なご意見を頂戴することができた。それらをふまえながら今後の教育委員会の活動を以下の点などを中心によりよいものにするよう努力していきたい。

◇教育委員会について

1. 教育委員会の活動内容については、会議の傍聴などにより町民への周知の機会を設けているが、利用されていないのが現実であり、町の広報紙、ホームページや学校だよりなどの活用により、町民・保護者に周知するようにしたい。
2. 今後も幅広い教育関係者等との情報交換の場を持つとともに、事務局との連携をより深め、教育行政に対する住民のニーズの把握に努めたい。

◇教育委員会事務局について

1. 社会教育活動においては、多岐に渡る事業に取り組んでいるが、指導員不足から町民の要望に十分に対応できていない事業もある。
　　今後は、住民のニーズを把握し、より多くの参加者が意欲的に参加できるように、事業の見直しや内容の精査により、生涯学習の推進を図っていきたい。
2. 社会教育関係団体との連携をより密にし、生涯学習を推進していく上で必要な指導者とその後継者の育成を図り、住民が生涯にわたり学習できる機会の拡充と環境整備に努めていきたい。
3. 文化の家を生涯学習の拠点とし、社会教育施設の持つ機能を最大限に生かした有効活用を図っていきたい。また、住民の生涯学習をより活発にしていきたいため、新しい施設、設備の整備についても今後検討していきたい。

《参考資料》

教育委員会組織図

